

もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. クライミングスクール (5/9 三倉岳) 報告
2. 県高校総体登山競技 (6/5 広島学院、6/6 五日市
高校～極楽寺山) 報告
3. チッピングについての注意喚起
4. 福山山岳会安全登山研修会報告
5. 岳連短信

1. クライミングスクール報告

(指導部長 森本 覚)

第 2 回 5/9(日)

山城：三倉岳 炊事棟

人数：15 名 (スタッフ含)

8 組のペアで、ねずみ小僧、ラッキーネーブル、モア
イクラック、ヒップクラック下部の 4 本でスタッフの
デモを交えトップロープのクライミングとビレイ。

F67 と猫の悲鳴でラッペルの講習を行いました。

(指導部 塩田 徹)

【感想文】

(受講生 松井 邦幸)

まず、初めに、コロナウイルス感染が再拡大し、開
催自体が困難な状況の中、感染防止に配慮した講習会
を実施していただき、スタッフの皆様には心より感謝
申し上げます。本当に、早くコロナ禍が終息して欲し
いものですね。

さて、第 2 回講習会が開催された 5 月 9 日は、第 1
回目とは打って変わって、雲一つない好天に恵まれ、
最高のコンディション下で講習を受けることができ
ました。8:30 にマロンウォール前駐車場に集合後、

点呼を済ませて約 30 分かけて講習場所の岩場まで皆
で移動しました。岩場では、すでにスタッフの皆様によ
り、確保ロープの設定を完了していただいていたいま
した。私も早く技術を習得し、セッティングのお手伝い
ができるようになりたいと思います。

現地では、様々なクライミングのノウハウや技術を
ご教示いただきながら実際の登壁にチャレンジしま
した。私にとっては、この日が初めてのクライミング
です。トレーニング場所に来て最初の感想は、「怖い！
無理！登れん！」でした。実は、高いところが苦手な
のです。…私。

動揺が続く私の気持ちはよそに、講習は粛々と進ん
で行きます。そのうち、チームを組んだ平山さんと私
の登る番が回ってきました。経験がある平山さんに先
に登っていただき、私はビレイを担当しました。正直
なところ、高いところが苦手なため、出来るだけ登る
時間を遅らせたい気持ちも有りました。…ビビりな私
です。しかしビレイも、相当緊張しました。何せ、ロ
ープ確保を失敗したらパートナーが危険にさらされ
てしまいます。ロープを握る手が緊張し、そのうち握
力が落ちてきました。焦りました。…ドキドキでした。
クライマーの「テンション」の声掛けに応じてクライ
マーを降下させる際は、最も緊張しましたが、その時
初めて、ビレイのブレーキがしっかりと効くことを確
認できて、安心しました。…多少コツを得た感じです。

次は私が登る番です。先に登られた平山さんのコー
スをヒントに登り始めましたが、それも束の間、すぐ
に考える余裕がなくなりました。足元も確認したいの
ですが、下を見るのが怖くて見れない。すぐに息が上

がり、のどはカラカラ。正直、登ろうとする気持ちよりも、怖い気持ちの方が強かったように思います。…超ドキドキでした。

このような登壁練習を 4 コースで繰り返しました。

コースによって登り方も異なり難しかったのですが、向かって一番左側のコースだけは意外とスムーズに登れました。岩の割れ目が縦にまっすぐ伸びていて、手を入れるのに丁度良い隙間だったので、教わったばかりのジャミングで登ることができました。壁をクリアできた時は、何とも言えない良い気持ちになりました。…小さな快感でした。

クライム練習の後は、懸垂降下の方法を教わりました。カラビナを使った降下を、かつて経験したことがあるので、多少のイメージはできました。ブレイはブレーキがしっかり効くので安心でしたが、逆に効きすぎて降下に手間取ってしまいました。カラビナを使った降下も試してみたいと思いました。

そうこうしているうちに夕方になり、皆で麓に戻り解散しました。初めての経験ばかりで、あっという間の 1 日でした。それだけ充実していたのだと思います。緊急事態宣言が延長され、活動自粛の日々が続いています。その分、次の講習が待ち遠しい限りです。次は高所恐怖症を克服するぞー！



(写真提供 塩田)

なお、5月の登山教室(2年5/16右田ヶ岳、1年5/23木の宗山～松笠山)は、5/10～5/31の期間に広島県に緊急事態宣言が発令されたので中止しました。(森本)

2. 広島県高校総体登山競技報告

(県高体連登山部事務局 修道高校 内藤 弘泰)

6/5(土)～6(日)において第74回広島県高校総体の登山競技が開催された。感染症対策で、テント泊は行わず、1日目は**広島学院高校**の講堂で知識等のペーパー試験のみを行って、いったん帰宅。2日目は**五日市高校**へ集合し、**極楽寺山**で登山行動を審査した。

参加校は**12校**で、参加人数は男子115名、女子33名、顧問・役員が24名の合計**172名**であった。

高体連登山部の大会では通常の登山に必要とされる体力(制限時間内にチェックポイントを通過など)・知識(気象・天気図や救急法など)、技術(読図・設営・炊事など)の様々な項目が100点満点で採点される。今年は感染症対策で、テント設営や炊事は行わず付与点とした。

今年の大会の結果は以下ようになった。

男子 ①広島学院 99.5 ②修道 99.1 ③基町 77.9

④廿日市 74.1 ⑤五日市 72.1 ⑥安古市 68.4

女子 ①ノートルダム清心 95.8 ②基町 79.2

この結果、男子優勝の**広島学院**と女子優勝の**ノートルダム清心**が、上位大会のインターハイへ出場する。

今年のインターハイは、福井県勝山市の三頭山・取立山で 8/20～8/23 で実施される。広島県代表として両校の健闘を大いに期待したい。

【選手感想文】

(広島学院 62 期 高 2 CL 村田凜斗)

「自分の代で、A 隊 B 隊ともに優勝する。」この夢が現実になった。

高 1 の冬に A 隊が決まった。CL 村田、SL 豆田、M1 敦賀、M2 有田の 4 人だ。豆田は高校からの入部だが、体力も知識もある真面目で信頼できるメンバーだ。敦賀は中学部の頃からの仲良しで、大会準備では驚くほどの熱意を見せてくれた。有田は中学部からの後輩で、同じ鍋の飯を食らい同じテントで過ごした仲だ。陽気で、虫に詳しく、いつもみなを和ませてくれる。

半年後の大会に向けてすぐに準備を開始した。平日朝は始業前に 4 人で裏山を登り、昼休みは設営、週末は市内の山々で読図練習を行う。必要だと思うことは何でもやった。お互いを分かり合うにつれて、タイムレースのタイムも上がっていった。

県総体が近づき、その実施形式についての情報が少しずつ入ってきた。予定されていた野呂山ではなくなり、会場は市内の極楽寺山になったこと。宿泊を行わずに 2 日で行い、設営炊事の審査がなくなること…。例年のない形での実施だった。

コースが決まるとすぐに下見登山を開始した。週末になるとみなでバスに乗って極楽寺山へ向かった。少なくとも 9 回は山に入っただろう。山道を駆け上がっているとき、僕たちの心の中にあっただのは、先輩たちの無念さや悔しさだった。昨年は県総体が中止となり、一つ上の先輩たちは力を発揮する機会さえ与えられなかった。県総体で敗れ、4 年間インターハイに出場できなかった先輩たちの涙が脳裏によぎった。

着実に準備を積み上げた。完璧と思えるまで準備し続けた。

B 隊の仲間も例年のない熱意と順調さで準備を進めていた。下見も A 隊と同じくらい行い、部内には力強い風が吹いていた。タイムレースでは、我々を脅かすほどの良いタイムをはじき出していた。同じ隊で対決

したら、点数的に負けてもおかしくないくらいだっただろう。

そして迎えた大会本番。初日はペーパーと計画書の審査だった。メンバーはみな「手応えあり」といった感だ。良い滑り出しだった。2 日目は、集合時刻 1 時間前には集まり最後の確認作業を行った。柔軟体操を入念に行い、準備万全で臨む。前日審査で 0.5 点の失点があったが、タイムレースで挽回してみせると気持ちを持ち直した

ザックの計量をすませ、いよいよタイムレース開始。今回のコースは、前半が急登で後半は緩やかな登りである。前半終わりの、尾根にとりつく急坂が難所であった。そこで必ずメンバーの誰かが遅れてしまうのだ。ここでペースを落としてしまつては勝つことはできない。そこで急坂にくると、有田の重りを僕と敦賀が受け取ることにした。担当重量を変えることでペースを回復させる。うまく乗り切った！後半の緩やかな登りにさしかかる。ここからどれだけ速く走れるかが勝負だ。読図定点が目に入ったのでメモし、止まらずに走り続ける。いつもより良いペースだ。が、残り 300 メートルで突然敦賀が離れ始めた。このままではゴールまで持たない。再び担当重量を変更する。敦賀の重りを豆田に渡し、僕が敦賀を後ろから押す。最後はみなで一体となって走った。ラストスパート！敦賀もフラフラになりながら最後まで走り切った。

坪井公園から極楽寺までのタイムは 29 分 17 秒。いつもより速い。あとは読図を落とさなければ大丈夫なはずだ。気を引き締めて再び歩き始める。記録書をみなで何度も確認する。ゴール到着の制限時間まではあと 30 分ほど残っていた。30 分全てを使って読図を何度も確認する。読図地図と記録書を提出した後、最後の審査である装備審査に向かう。問題なく終えて、体育館横で審査物返却まで待機する。審査物が帰ってくるまでのこの時間は本当に長かった。読図で 1 つでも落としていたら負けてしまうと気が気でなかった。

「団体男子 A 隊 第一位 99.5 点、広島学院！」

この一言を聞いたとき、ここまでがんばってきたことが間違えでなかったことを実感した。やってきて本

当に良かったと思った。安堵のためか喜びか、涙が出そうになるのを堪えた。「インターハイに行ける！」それは頭では分かっていたが、すぐには実感がわかなかった。あまりにも自分には大きすぎることだった。

広島学院から 7 チームが出場した B 隊も 1~4 位を独占した。7 チーム全てが 90 点台をはじき出す好成績だった。A 隊 B 隊がともに優勝するのは何年ぶりなのだろう。30 人を超える部員が参加し、みなで勝ち取った。良い仲間たちに本当に感謝したい。

先生には下見へ連れて行っていただき、備品の買い出しもしていただいた。相談にもたくさん乗っていただいた。高 3 先輩には下見で定点を置いてもらったり、計画書や記録書、天気図を確認してもらったりした。保護者のみなさまはいろいろな面で支えてくださった。大会直前には OB の先輩方からの応援が心の支えになった。

多くの方に助けていただいて、大会経験の少ないチームがどうにかインターハイ出場まで漕ぎ着けたことに感謝します。最後に、コロナ禍で制約の多い中、大会を開催し運営してくださった関係者の皆様本当にありがとうございました。

福井で行われるインターハイ、仲間とともに優勝してきます。



(ノートルダム清心高校 選手一同)

このたび、広島県高等学校総合体育大会登山競技で優勝し、2 年ぶりにインターハイの切符を勝ち取るこ

とができて、とてもうれしく思っています。

コロナ禍で思うように練習や準備ができなかったことに加え、4 人のうち 3 人が初めての大会、1 人が 2 回目の大会のため、不安でしたが、先輩方のアドバイスや励ましに支えられました。また、憧れの先輩方を見て、中学生の時からトレーニングを重ねてきた自分たちを信じ、励まし合って全力を出し切ることができました。

反省点もありますが、広島県代表としてインターハイではより良い成績を残せるように精一杯頑張ります。

最後に、大会関係者の方々をはじめ、先生や先輩方、愛ある応援をしてくれた仲間や家族には大変感謝しています。ありがとうございました。



3. チッピングについての注意喚起

『お願い！岩を削らないで！』

(指導部長 森本 寛)

一般登山道では登山者の安全歩行の為に岩を削って整備をすることはあります。

それとは別に最近、フリークライミングのゲレンデで、既に公開されているルートの岩を削って持ち手や足場を加工して登っている人達があります。

フリークライミングのルールでは、命を守る確保用にボルトなどの人工物を取付ける事はありますが、登る為に岩壁を加工することはありません。

加工されたルートに、今一生懸命チャレンジしている人や登った思い出のある人、何より最初にラインを

見つけて整備して公開した人達は大変残念に思っています。

それぞれのルートには広島の人達の思いが染み込んでいるのです。ここで技術を磨いて多くの山に挑戦していった、先人達の思いが染み込んでいるのです。

持ち手や足場を削って登って、楽しかったですか？
登れて満足でしたか？

フリークライミングのルートの岩を削って登る行為は絶対にやめて下さい。

削るという行為はそのルートそのものを否定している事になります。

広島の人はその行為を絶対に許しません。

今、広島近郊のクライミングゲレンデで問題となっている岩を削って登る行為(チップング行為)に対して警鐘を鳴らす為に、皆さんへ知って貰いたい情報として掲載します。

天応なめら岩：凹角、第1ポピュラー他



窓ヶ山第二スラブ：秋桜、まきこちゃん他



4. 福山山岳会安全登山研修会報告

(福山山岳会『会報』R3.7月号より)

◎ 安全登山研修会をリモート開催しました。

「福山山岳会令和3年度 安全登山研修 一登山と責任(登山者のための法律入門)一」

日時：平成31年6月20日(日)

Zoom ミーティングによるリモート開催

当初、福山市生涯学習プラザで開催予定でしたが、緊急事態宣言が延長されたことを受け、急遽、オンラインでのリモート開催となりました。広島市、三原市、倉敷市、大阪市など遠方からの受講者や蔵王岩山観音で練習中の会員のリモート視聴もあったりと、オンラインならではのセミナーとなりました。

当日のセミナーの様子は YouTube チャンネル「FSKアーカイブ」で公開しています。当日視聴を逃した方は次のリンクよりご覧いただけます。

パソコンにURLを入力する場合

<https://qr.paps.jp/13Auj>

(スマホの場合は次頁のQRコード)

(福山山岳会安全登山講習会の模様)



↑
スマホの方はコチラ

研修会のレジュメはこちらからダウンロードできます。

https://drive.google.com/file/d/1_H5uY3VBMAY2F077kdJH3lIlfUvQMyYm/view?usp=sharing

[77kdJH3lIlfUvQMyYm/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1_H5uY3VBMAY2F077kdJH3lIlfUvQMyYm/view?usp=sharing)

(以下、レジュメからの抜粋)



本日の講師

講師 満手康史 (みぞて やすふみ)

1955年生まれ。1988年弁護士登録、国立登山研修所専門調査員、文部科学省冬山事故検討委員会委員などを歴任。

日本山岳文化学会、日本ヒマラヤ協会、広島山岳会などに所属。ヒマラヤのアクタシ峰(7,016m)、パフィン島のフリーガII峰、天山山脈のポベータ(7,439m)等、国内外の登山は多数。著書等に「山岳事故の法的責任」「登山者のための法律入門」などがある。

登山は自己責任が原則

- ・かつては、登山では、「事故と弁当は自分持ち」と言われた。
- ・事故が起ると、遭難者は「自己責任である」と非難される。
- ・原則から言えば、登山は自己責任・・・憲法上の原則
- ・自分の安全は自分で守るのが原則。事故が起きた場合に他人に責任が生じる場合は例外。
- ・過失がない限り法的責任を負わない。これにより、行動の自由が保障される。
- ・原則として過失行為は処罰されない。過失行為の処罰は限られる。過失で物を壊しても処罰されない。過失致死傷は刑罰が軽い(罰金刑)。
- ・マスコミは、損害賠償責任が生じる場合や処罰される場合を報道するので、それが目立ちやすい。人間の行動のほとんどは損害賠償責任が生じないし、処罰されないが、マスコミはそれを報道しない。

個人の自由の例外…法的責任が生じる場合

1、積極的な加害行為のある場合

- 他の登山者にぶつかって転落させる場合
- 他人所有のテント、カメラなどを壊した場合

2、他人の安全を守る義務が課される場合

- 他人の安全を守るべき特別な立場に立つ場合。
- 特別な立場・・・法律、契約、その他の事情による。山岳ガイド、ツアーガイド、教師、講師、インストラクター、救急隊員、公務員(職種による) 医師(業務上の注意義務) など

5. 岳連短信

1. 寄贈御礼

- 三原山の会『筆影』No. 495、496 (6、7月号)
- 福山山岳会『会報』R3.6月号、7月号
- 広島山岳会『山嶺』第870号 (R3.5月)
- 広島山稜会『峠通信』第744、745号 (6、7月)
- 長野県山岳協会『やまなみ』No. 241 (6/10)

2. 連盟ホームページ全面更新予定のお知らせ

現在のホームページは仕様が古く、使い勝手に不便なところもあることから、このたびホームページを全面更新することにいたしました。8月上旬をめどに新ホームページへの移行を計画しています。

つきましては、各加盟団体の皆様には、新ホームページ用の加盟団体紹介を8月初めまでに提出して頂くこととなりますので、よろしくお願ひします。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい